

# 学習課題(中学校2年生)



## 【数学】

### <学習内容>

出やすい目を予想してみよう。(教科書 P178~179)

～予想が正しいかどうかはどうすれば確かめられるだろうか～

### <取り組み方>

(1) 教科書の巻末④のさいころを2つ作ろう。

※既に学校の授業で使ってしまったなどにより、巻末のさいころがない場合は、教科書 P178 の展開図を参考に自分でさいころを作ってみよう。また、次回の課題や今後の授業でこのさいころを使うこともあるので、作ったさいころは捨てずにとっておこう。

このさいころ1つを1回投げると「A」「B」「C」のいずれかが出ます。

では、このさいころ2つを同時に投げるとどんな目が出るのか考えてみよう。

(2) このさいころを2つ使って、景品を当てるゲームをします。さいころを2つ同時に投げたとき、もっとも出にくい目を「1等」、もっとも出やすい目を「はずれ」とするとき、どんな目の出方を「1等」と「はずれ」にすればよいだろうか。予想してみよう。

(3) 2つのさいころを同時に投げる実験をし、結果を表にまとめてみよう。

出た目\実験回数	50	100	150	200		
と						
と						
と						
と						
と						
と						

(4) 実験結果から、「1等」と「はずれ」にする目を考えよう。

### <学習のヒント>

(1) 例えば、どちらも「A」の目が出る「AとA」という目の出方がありますね。他にどのような目の出方があるかな。全ての目の出方を書きだしてみよう。「AとB」、「BとA」は同じと考えてよいだろうか。

(2) なぜその予想したのかを言葉にしてみよう。

(3) 実験結果を正しく整理するために、「正」の字を使うなどしながら、記録しておくといいね。実験回数が増えるとどんなことが見えるかな。

(4) (3)の実験結果は、(2)で予想したとおりだったかな。もし、予想と違う結果になった人は、どうしてその結果になったのかも考えてみよう。(次回の課題で、じっくり考えます。)